

第9回 WBC(若獅子ベースボールクラシック)実施要綱

○大会概要

- 実行委員長 : 金城 勝 (夏見台アタックス)
 審判長 : 近藤 賢一 (夏見台アタックス)
 事務局 : 山下 雅之 (夏見台アタックス)
 大谷友太郎 (夏見台アタックス)
 参加資格 : 新三年生以下によって構成された単独もしくは連合チームで若獅子杯ベスト8
 以上のチーム
 参加費 : 3,000円
 表彰 : 優勝&準優勝優チームには、優勝旗、準優勝旗、賞状、メダルを授与します
 三位チームには、賞状、メダルを授与します
 ただし、事務局手配メダルは12個(以降は各チーム負担)となります
 大会期間 : 3月中旬～5月上旬
 試合形式 : 8チームによるトーナメント方式(三位決定戦はなし)
 決勝戦 : 審判長が主審を務めます(塁審三名も事務局が手配します)
 結果報告 : 試合結果は当日中に事務局山下まで連絡して下さい

○開会式

- 日時 : 平成27年3月8日(日)8時30分～(受付8時)
 場所 : 高瀬町運動広場 少年A面
 雨天の場合は翌週日曜日(同時刻)に順延します(場所は未定)
 持ち物 : プラカード、団旗 ※前年度優勝&準優勝チームは旗を持参して下さい
 優勝 藤上ディアーズ
 準優勝 西海ドラゴンズ
 選手宣誓 : 若獅子杯優勝チーム(豊上ジュニアーズ)

- 出場チーム
- | | |
|--------------|-----------|
| 豊上ジュニアーズ | (柏市) |
| 西海ドラゴンズ | (船橋市) |
| 市川アスナロズ | (市川市) |
| 若松ヤンガーズ | (船橋市) |
| FTJ | (船橋市) |
| 夏見台アタックス | (船橋市) |
| 藤上・本塩子ども会野球部 | (船橋市・市川市) |
| 海神スパローズ | (船橋市) |

○大会規定

- バッテリー間は14m、塁間は21mとする。
- 主審のすぐ後ろ（2～3m）にバックネットを張り、パスボールを防ぐ。
- 試合は5回、時間は1時間15分。
時間優先であるが、後攻が負けている場合は当該回裏の攻撃を続行すること。
- コールドゲームはなし。
- 試合球は軟式公認C球（トップボール）、各チーム2個提出。
- ボークは取らない（監督に注意）。ただし、攻撃側に著しい不利があった場合はボーク前の状態に戻して試合を再開する（攻撃側に有利な場合はそのまま試合を続行する）。
- 投手は9アウトで交代のこと（サドンデス回を含む）。
- 投球練習球数は、初回5球、次回以降3球とする。投手交代時は5球。
- 振り逃げはなし。主審は「三振」「フォアボール」を打者に伝えてあげる。
- 打者は必ずヘルメット着用のこと。捕手はヘルメットとプロテクタ着用、レガースは自由。
- ユニホームの着用は強制しない。ただし、帽子と背番号は着用のこと。
- 必ずスポーツ保険に加入すること。危険なプレーは厳禁。
- 審判は両チームより2名出し合い、主審は話し合いで決める。
- 選手登録は不要。ただしメンバー表は試合前に交換する。用紙は自由。
- 選手および審判は試合開始予定時刻の1時間前に集合して試合開始に備えること。
- ランナーコーチは大人でも可（出来ればユニフォームを着用して下さい）。
威嚇的な言動はつつしむこと。
- 同点の場合は、サドンデス（1アウト満塁3番打者から攻撃開始。ただし、一旦ベンチに下がった選手の復活は認めない）によって勝敗を決する。
サドンデスは1イニングのみとし、なお同点の場合は試合以外の方法（抽選やじゃんけんなど）で勝敗を決する。 ※監督間で協議・実施して下さい（子供は参加させない）。
- 複合素材によるバット（ビヨンド、カタリスト等）は使用禁止。
- 試合は必ず7名以上で実施すること。
選手不足による試合のキャンセルや日程変更が続いた場合は棄権扱いとする。
- 入部1年未満の女子選手に限り、新四年生の参加を認める。
- 上記以外は公認野球規則を適用する。

以上